

第3回議会制度調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年7月2日(金曜日)			開会	10:00	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:30				
議員の出欠	7 番	木嶋 悦寛	出席	10 番	小林 敏之	出席	13 番	中村 忠士	出席
	8 番	松壽 孝雄	出席	11 番	瀧川 榮子	欠席	14 番	佐藤 初雄	出席
	9 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
委員外の出席	議長		西原 浩				合計	1名	
事務局職員	事務局長		小島 実	主幹		入田 浩明	合計	2名	
傍聴者数	一般		0名	議会モニター		0名	議会サポーター	0名	
	報道関係者		0名				合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 14番 佐藤	10:00 開会・挨拶
	開催概要説明
	会期1日、出席委員9名、委員外1名（議長）
委員長 14番 佐藤	開会挨拶
委員長 14番 佐藤	議事（1）通年議会制度について
事務局長 小島	資料により内容説明
委員長 14番 佐藤	委員間討議
委員 7番 木嶋	
	多くの議会では導入されていない現状はもちろんある。 そういうことを理解しながら、自分たちが今目指している委員会活動の活性化や委員会中心主義をとっていくっていう中で、現在の定例会制っていうのがもたらす、デメリットの部分も大きいのかなというふうに考えるようになった。 例えば、閉会中の所管事務調査の議決がいらなくなるっていうことは、非常に大きいことだし、必要な議事を必要な時に、調査・審査することができることは、メリットの方が大きいと考える。
副委員長 13番 中村	・通年議会制をとっているのは、道内町村レベルでは、10市町村でいいのか。
事務局長 小島	・議長会の情報なのでまちがいない。
委員 9番 今西	・これは自分の考え方だが、議会活性化のためには通年議会っていうそういう考え方に陥りがちだと思うが、そこを分けて考えた方がよいと思う。
	閉会中の委員会調査の決議が必要ないメリットは納得できるが、今の状況の中では委員会自体の姿勢がもう少し変わらないと、意味ないのではないかな。 自分としては、基本条例の中での一つ一つを実行に移していくことによって、その中からやっぱり、通年議会として取り組むっていう方向で考えてましようという流れのほうがいいのかなっていう気がする。 その辺ところも含めて、これからの中でやっぱり検証しながら、議会として検討が必要。
委員 12番 松原	・実際、通年議会を導入している議会というのはそんなに数多くない。
	別海町議会が通年議会にしなければ、議会の運営上どうのこうのっていうことはない。 だが、通年議会のいいところっていうのは、災害が起きたとか何とかっていう時に、早く議会が開けるとかそういうことにつながると思う。 先ほどから意見が出てるように、閉会中の議決がいらないことはメリットあると思うが、通年議会を採用する自治体が増えていかないというのは、それほど必要性がないからなのではないかな。 行政側が通年議会が必要だということであれば導入してもいいのではないかな。 協議も必要だと思う。 参考までに、九州の熊本地震の時に、益城町議会は災害時に議会を開く余裕がなかったということで、町長の専決で物事が進んだっていう話を聞いている。 そういう時に、この通年議会というのがあったらスムーズに議会が開けたのかなって。

第3回議会制度調査特別委員会 要点記録

事務局長 小島

・皆さんそれぞれいろいろ調査はしていると思うんですけど、まだまだ調査しないとならない部分だと思う。

7月28日に根室市とはWEB会議するということで確定している。

根室市議長からいろいろ導入した経緯なり、またメリットデメリット等その辺の話を生で聞くのがよろしいかと思う。

それから、8月には議会サポーターの西科さんから芽室町の通年議会について話を聞くことにしている。

この2つの議会からお話を聞いてから別海町はどちらになじむのかなというのを決定することで十分だと思う。

今、結論を出すというのは無理だと思うし、この委員会は通年議会を採用するために作ったわけではございませんので、検討して別海町に合った形にする、そういう部分で皆さんしっかり情報をインプットして、最終的に採用する採用しないということになるので、その辺の調査を今後も進めていただければ。

委員 11番 滝川

・この前の委員会の資料で、逆に、通年議会だったために災害の対応にデメリットが生じたというふうに書いていた。

導入後に通年議会をやめた自治体もあるということで、そういう関係の資料が欲しい。

副委員長 13番 中村

・専決処分の関係なんだけれど、先般専決処分がなくなれば自然災害時に議会对応を優先する余地、現場対応が後回しになる場合があるそんなふう述べている。それで事務局にへのお願いということになるんだけど、自然災害への対応で通年議会でこういうメリットがありましたデメリットがありました、逆に、通年議会でなかったために支障が出た、あるいは通年議会でないために、専決処分の関係等で対応が早かったとか、そういうメリットデメリットでそれぞれの事例が客観的に見れば、大変ありがたいなという感じするので、先ほど松原委員さんがお示しになった事例なんかも含めて、もう少し詳しく知りたいなって感じがする。

事務局長 小島

・事務局も調査をしてみたいと思う。

うちの場合は、専決処分は除雪くらいで、災害に関してはしばらく大きな災害はないということで、どうだったのかっていうのはわからないが、確認してみたいと思う。

委員 7番 木嶋

・物の見方っていうか、方向性で大きくこう考え方変わってくるのかなというふう思う。

今、皆さんこう話されて、取り入れるところがそんなに増えてないということは、求められてないんじゃないかというようなことが語られたんですが、先ほど冒頭から説明の中にもあった、現行の定例会制と大きく変わるものではないと考えるなら、逆に導入してもそんなに変わらないんだしたら、できることが増えるからいいんじゃないかっていう見方もある。

委員 8番 松壽

・なかなか難しい。

今は勉強するしかないと思う。

委員 9番 今西

・結論は別として、通年議会を議論するというは議会として前進しているように感じる。

委員 12番 松原

・導入するとしたら、議会だけの考えだけではなく、行政の考え方も聞く必要がある。

事務局長 小島

・導入するとすれば行政と協議することになる。

ただ、通年議会を導入しても議会から一方的に開くことはない。

今後も、行政と協議し日程調整後に開くのはかわらない。

委員 10番 小林

・メリットデメリットがいまいちわかっていない。

個人的に勉強が必要かなと思う。

委員 7番 木嶋

・この会議のそもそもの持ち方。

いろんなことを検討していく中で、みなさん一同にテーブルに着いて話をしていくんだけど、結局事務局から説明を受けて、で聞きました何か質問もありますかって話をしていく意見を言うって言うけど、その積み重ねていうのがはっきりしてこない。

ということは、今、現状を困っていることがあるのかどうか、それから、それが続いた時にどうなるのか、その改善策はどうなのかっていうことで、一つの流れ中できちんと結果が見えるようにしていくっていうことが大事だし、話の経過がわかるようにしていくっていうことはすごく大事だと思う。

今までいろんな会議の持ち方っていうのを学んできるとは思うけど、そういうことをうまく

第3回議会制度調査特別委員会 要点記録

		取り入れながら、もう少しこの短い時間の中で、いろんな意見をきちんと集約して、どういところに問題点があるのかってということわかるようにしていくっていうのが、重要なんじゃないかなっていうふうに思うので、今後の会議の持ち方というか、その工夫を求めたいと思います。
委員長	14番 佐藤	・木嶋委員が言うのも一つの考え方とやり方であって、私どもは皆さんに資料を提示して議論の意見をいただく。 当然、議員としてやっているわけですから、メリットデメリットそれぞれお持ちの中での御意見をいただいと私は判断して今進めてる。
委員	7番 木嶋	・そういうことではなく、そもそもの話し合いの仕方です。 やっぱり、自分たちの話がどういところに意見だとか、ものが出てくるのかっていうことをその都度わかるようにしてったりだとかっていうこと。 せっかく議会制度改革いろいろやってきている中で、会議も変わらないとだめなんじゃないかなというふうに思う。 そういうことをやっていくことで、この短時間の議論がわかりやすくなっていったらだとか実のあるものになっていくと、その積み重ねが本当にいい結果に持っていくっていうことのプロセスがよくわかるようになるっていうことは、やっぱり大事だと思う。 なので、例えばファシリテーションの技術であったりとか、そういうものを皆さんがやるというよりも、講師を派遣してもらってその会議をもったりだとか、そういうことを何かも工夫してやっていくことで、特別委員会がよりよいものになっていくんじゃないかなと思う。 今のままでもちゃんとした結論を出す出せると思います。 だけど、何かこうもつとやったことに対する充実感というんですかね、そういうのがあったらいいなというふうに考えるところ。
委員長	14番 佐藤	・当然、そういう流れでやるのがあるんでしょけども、いろんな角度からっていう感覚はもってはいらんですけどね。
委員	7番 木嶋	・そうじゃない。 会議の進行の仕方では結果が変わってくるということです。 なので、そこを考えてほしいなと。 それはすごく重要だと思います。 なので、こういう特別委員会だからこそとれることだと思うし、これからのことで検討いただければありがたいなというふうに思う。
		暫時休憩 11:08
自由討議		自由討議
		再開 11:20
委員長	14番 佐藤	・それぞれの意見いただいた。 他に何かあれば。
委員	12番 松原	・1時間くらい議論したので、次の会議までに各委員考えてもらう。
委員長	14番 佐藤	・他になければこれで終わる。
委員長	14番 佐藤	議事（2）その他 ・今後の予定を説明し、皆さんの同意を得たい。
事務局長	小島	・7月28日 根室市議会（議長・事務局）WEB会議 10時予定 - 同日に議選監査委員について、現状聞き取り調査（外山議員） ・8月下旬 議員サポーター（西科氏）に芽室町議会の現状を聞く。 土山先生も出席するかも。
委員	7番 木嶋	・オンラインの視察研修の進め方はどのように考えているのか。 委員は勉強していると思うので、事前に質問を出して、こちらがわからないことを重点的に説明してもらおうのがいいのでは。
委員長	14番 佐藤	・同じようなやり方で考えていた。 7月9日までに事務局に提出してもらう。
事務局長	小島	・導入のきっかけ、メリットデメリットの2点を聞く。 その他、具体的に聞きたいことについては、事務局に提出していただければ、根室市に

第3回議会制度調査特別委員会 要点記録

	事前に申し入れする。	
一同	・異議なし	
委員長	14番	佐藤 閉会挨拶
委員長	14番	佐藤 14:15 閉会